

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270500491		
法人名	医療法人 牧山医院		
事業所名	グループホーム ライフ		
所在地	〒856-0807 長崎県大村市宮小路2丁目1408番地		
自己評価作成日	平成21年12月10日	評価結果市町村受理日	平成22年2月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1F
訪問調査日	平成21年12月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念にも掲げているように、診療所併設ということで利用者とその家族が安心して暮らすことができる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域に根ざした病院の隣の居宅を増改築したホームは、手狭な所も見受けられるが、木造家屋で落ち着きがあり家庭的雰囲気である。外柵の高さも閉鎖的でなく外の様子を見ることができる。広いウッドデッキは屋根があり入居者も気軽に干し物などできる。病院併設のため、入居者の病状変化において24時間365日対応が可能で、家族の安心感が得られている。地域性を十分に生かすことのできる立地に適しているため、介護教室や折り紙教室を催され近隣の方が参加されている。今年度は、管理者の交替後まだ1ヶ月と不安な様子の中、職員のチームワークと医療連携のケアに取り組む姿勢を感じられた。今後、更なる危機管理の体制の充実と家族との信頼の構築に努めたいと意欲を示されているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝のミーティングの際、復唱することで統一化を図り、実践につなげている	基本理念を毎日唱和されるので職員は覚えられていて、理念を意識して共有した実践に取り組まれている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事や折り紙教室において関わりを持続できており地域の一員として日常的に交流する場をつくっている	医療法人医院の事業合同(通所リハビリテーション・デイサービス・グループホーム3ヶ所)で、夏祭りや敬老会に地域の方も参加され、行事をきっかけに折り紙教室をホーム便りで呼びかけすることを考えられている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	十分とは言えないが今後公民館の掃除などに利用者と共に参加し貢献し認知症の人への理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしたいと考えている			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常生活の状況や活動への取り組みについて報告し、その場で意見を頂き、ミーティングの場にて話し合いサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月を目途に、法人合同行事を会議の場に置き換えて、参加者からの意見の傾聴の機会とされている。ホーム単独の会議は、入居者の現況報告や感染症予防について、市職員より制度の説明など、双方向な話し合いをされている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議にて行っているが、2ヵ月に1度の為それ以外でも足を運び連携を取りたいと考えている	管理者の変更届を提出する折、直接挨拶に出向かれている。今後も積極的に指導を受けて連携をとるように考えられている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の訴えよく聞き対応するようしているが夜間常転倒のリスクが高い為マットコール使用している 家族には使用する事を理解して頂き承諾書も頂いている ミーティングや院内研修などにて話あったり身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、勉強会も開催され疑問に思うことは話し合い、職員間の認識の共有を図り日々のケアの実践に努められている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に行き虐待に対しての意識を高め事業所内での利用者主体のケアに努めている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて情報提供できるように、講演やシンポジウムに参加するようにし知識を高めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は管理者、計画担当者が立会い十分説明をした上で家族の方の不安や疑問も尋ね理解して頂くようにしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や行事に参加されている時などに意見要望を聞くようにしている又意見・要望ボックスを設置しておりそれらをミーティングや運営推進会議にて話し合い実践するようにし反映させている	意見箱は設けてあるが意見は得られず、家族との信頼関係を構築できるように、訪問されたときは状況報告と要望を聞くようにしてケアに反映できるように心がけられている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時に職員の意見や提案を聞き実践するようにしている	接遇の研修に参加し、職員で共有を図るために勉強会をしたり、各ホームの職員研修会「各駅停車」の担当として研修に参加してケアの質の向上に努められている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が職員を代表し伝えるようにしている 少しずつだが改善の方向に進んでいる		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	難しい課題だが、院内研修や外部の研修の機会を多く参加できるように人員の確保に働きかけしており協力的である又人材を育てることに積極的である		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヵ月に1回程度で交流学習に参加しており、ネットワークづくりや勉強会意見交換にてサービス向上を目指している		

自己 自 己	外 部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントをとり、本人またはご家族より困っていること不安なことに耳を傾け関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前に十分な説明と要望等に耳を傾ける機会を多く持ち安心と信頼を築く関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族に十分に話を聞きアセスメントにて「その時」の支援を見極める事ができるように対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを大切にしてお手伝いして頂くことにより同じ立場の関係を築くように努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際に状況報告を行い家族の方よりアドバイスという形で信頼関係を築くようにしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年賀などにて行ったり、近所の理容院が行きつけで馴染みの関係ができており継続し支援して行きたい	家族の理解と協力により、外出の機会をえられている。折り紙教室で馴染みの関係ができつつあるが、今後も、入居者の希望や家族の思いを相談しながら、馴染みの人や場との関わりが持てるように支援を考えられている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの関わりが殆どだが、その中でお互いの洗濯物をたたみあったり、職員は傍にて見守ったりと働きかけを行い支えあうような支援に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も経過を確認し移設後までの対応を行ない関係が途切れないように必要に応じ相談や支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意見を尊重するように努めている又困難な場合は日頃の観察にて利用者本位のケアを心がけている	入居者のしぐさや細かな表情を気づけて、リビングのソファで寛いでもらい、常に見守りを怠らず関わりのなかで思いを受けとめケアに取り組まれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族、職員間より情報を収集し暮らしのシートにて対応し把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりが申し送りノートや熱計表を把握し職員間での申し送りやミーティングにて対応した各自確認しあうようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングにて各自得た情報を話し合い意見を出し合い検討、実践し介護計画に反映するようにしている	入居者担当職員が、入居者の思いや関わりのなかで気づきを全職員で話し合い計画をし、見直しは3ヶ月及び、状況変化に応じ随時計画の変更に取り組まれている。介護計画に反映した、家族の意見の明確さが得られるに至っていない。	介護計画に反映した日常の暮らし方を大切に、家族との密な話し合いを含め介護計画の説明と同意・捺印をいただき、更に、家族の理解と協力を得られるような取り組みを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ちょっとした様子や気づきを見逃さないように職員間で声掛けあったり又ミーティングにて情報を共有しながら実践や介護計画に活かすようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	十分とはいえないが、できる範囲でのサービスは行っている 今後は要望があれば取り組みたいと考えている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	折り紙教室の開催 始めた頃に比べ参加される方が増えおり個人の力を発揮し楽しまっている これからもいろんな事に挑戦し豊かな暮らしを楽しんで頂くように努めたい		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望や必要に応じている 週1回のドクター往診ありその都度きになる事など相談し対応している	常に、入居者の健康管理に努め、併設された病院の担当医に状況を報告して、適切な受診支援がされている。協力歯科医の往診も週1回、実施されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診時での相談や電話連絡を密に行っている 又受診の際には必ず職員が一緒に行き状態を伝えている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	診療所併設により定期的に状態報告あり又職員が時折顔をだし直接様子を伺ったり直接情報交換したりしている又馴染みの職員が行くことで利用者に安心して頂くようにしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に話すようにしているが家族の考えの変化がある場合もあるため状態変化があった時など度々聞くようにし事業所でできる範囲を十分に説明し本人又は家族とのズレが生じないように取組み医療機関との連携に努めている	緊急時にそなえて、職員の意識の共有として心肺蘇生法の唱和を毎朝取りくまれている。現在、重症の方がおり、ホームの内線通知で病院の看護師が対応し、治療経過の報告は看護師から医師へ行い、また家族と話し合いを重ねられ家族の意向にそった支援に努められている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生法は毎日復唱している又看護師にいざというときの対処法など聞いたり研修の中やミーティングの際にも訓練し不定期にて実践している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防・災害訓練は定期的実施している	10月に、地震発生及び厨房より火災発生を想定した訓練を、地域の協力を得て実施されている。通報通知及び懐中電灯の配備は整っているが、危機管理体制の充実には至っていない。	定期的な訓練は実施されているが、職員の危機管理を構築するために、夜間想定訓練、最低3日分の備蓄、入居者顔写真入り緊急持ち出しファイル、プラグの掃除等詳細な検討を期待したい。

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	些細な事でも自分に置き換え対応するように心がけている又職員の言葉かけにもお互い注意し合うようにしている	入居者は、目上の方であることを意識して名字で声かけに努め、家族の思いをくんで馴れ合いにならないように、接遇で学んだことを実践されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛けにより本人の思いを引き出せるようにしている又言葉で出せない方には観察にて思いをくみ取るようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状態を考慮し職員は1人ひとりのペースを大切に希望にそえるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日頃より離床時の髪の手入れ、服に食べこぼしがあったりした場合さりげなく更衣を行うようにしたりと気を遣うようにしている又利用者に服を選んで頂くようにしたり近所に行くにも化粧したりと支援して行きたい		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	できる方に関してはして頂くようにし声掛けも行っている 一人ひとりの嗜好にもできる範囲で行っている	入居者の好みを尋ね、出前の注文をしたり、季節の食材をいれて一週間の献立を考えられている。餅つきの餅を丸めたり、できることは手伝っていただき、職員も一緒に食事をされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取は表にし状態把握に努め一人ひとりに配慮した支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛けまたは介助にて行っている又一人ひとりの力に応じ磨き残しがないかチェックも行っている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時または間隔みて誘導し、そわそわしたりなどタイミングをみて一人ひとりのパターンをつかみトイレでの排泄を促す支援を行っている	一人ひとりの排泄時間は日計表で把握されていて、布パンツ使用の方もあり、タイミングを捉え、トイレにての排泄を促されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	服薬コントロールや水分量の把握、朝ヨーグルトの摂取などの工夫を一人ひとりに応じた予防に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1日3名を実施声掛けにて断られる場合改めて日程を設け気持ちよく入浴を楽しんで頂くようにしている	午前中に入浴の促しをされている。入浴拒否者が多く、気持ちよく入っていただくためにも、間隔をおいて声かけを臨機応変に支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中傾眠みられたりすると臥床の声掛けし夜の安眠に影響ない程度に行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	臨時薬など連絡帳や申し送りにて目的までは把握しているも副作用まで理解しているとは言えない今後薬情などにて理解し服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手伝いなどにて役割分担しているもその他の方の働きかけが不十分と思われる今後一人ひとりが張り合いや喜びのある日々を過ごして頂けるよう支援していきたい		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	月に1度は外食などするようにしているも各個人の要望に応えられているかは疑問だが気分転換を図るよう支援している	入居者の希望に沿って買い物に出かけたり、ドライブに行ったりして、一人ひとりの体調に留意して外出支援に努められている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	2名本人で持たれている 1人は職員と買い物に行き好きな物を買われている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀などにて行うようにしている今後本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように利用者に働きかけ支援していきたい		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同のリビングなど異食行為がある利用者を考慮しつつ季節の物を飾ったり、整理整頓行い居心地の良い空間づくりに努めている	神棚が祭られ、料理のにおいを感じながら過ごせる生活観のあるリビングは、手狭ではあるが上手に配置されている。新築された廊下には、ひとりで寛ぐことのできる空間があり、他に、営繕担当にドアの取り付けの要望を依頼されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ほとんどの方がリビングで過ごされており各自座る場所が決まっている その中で利用者同士で話したりテレビをみたり職員と一緒にレクリエーションし楽しんで頂けるようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	小物から仏壇まで管理ができる範囲で持ってきて頂き、本人が心地よく過ごせるように努めている	増改築された居室と間仕切りされた居室との差は感じられたが、ベッド、筆筒、小物の持込で落ち着きのある雰囲気であり、家族の申し出があれば持込は可能で、職員が掃除や衣類の交換など行き届いた配慮をされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのリスクを考慮した環境づくりに心がけており、出来ることではデッキにて洗たく干しをして頂いたり玄関外の花壇に水やりして頂いたり安全かつできるだけ自立した生活を送って頂けるよう支援している		